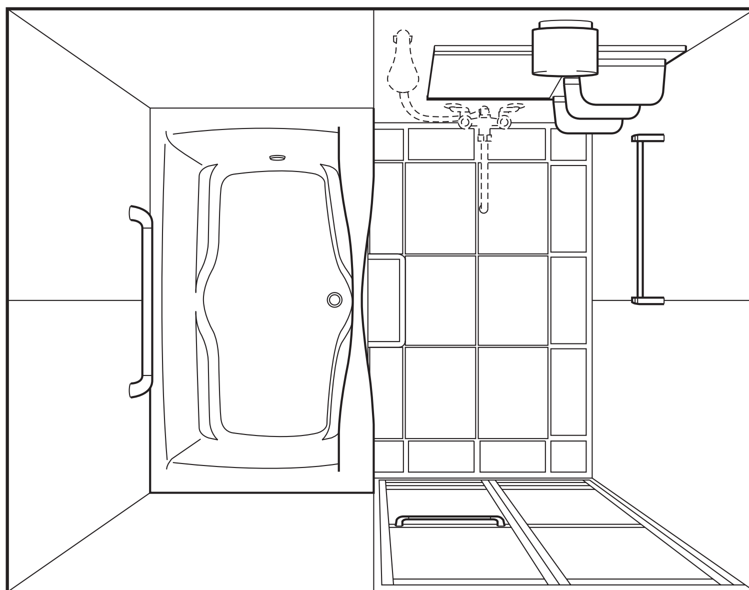
INAX

システムバスルーム

ビエントオーレシリーズ

取扱説明書

対象品番
BY- 1317LBEL



この度は弊社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。

このシステムバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ 品番シールは､浴室ドア上部に張ってあります。
※ 本取扱説明書と水栓金具、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところにまとめて保管してください。
※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。

もくじ

各部のなまえ

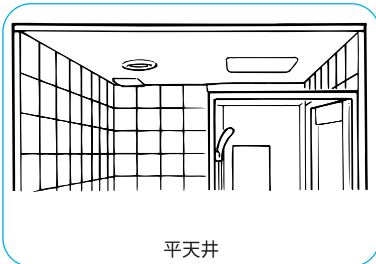
天井点検口
照明（円筒型）
換気
鏡
シャワー
平棚板
壁
洗い場側水栓
目皿
エプロン
浴槽
床

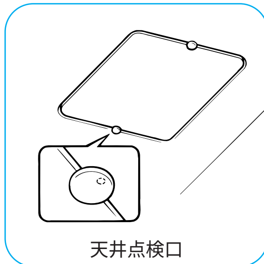
⚠注意

点検口は電気配線や配管関係等に異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物等を置かないでください。
※**火災・感電や漏水の原因**となります。



天　　井

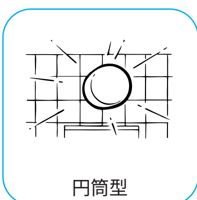

平天井


天井点検口

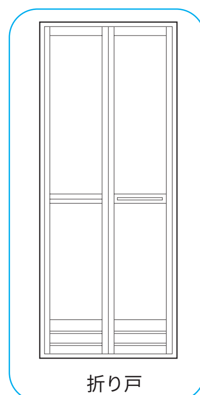
収　納　部


平付収納ラック

照明器具


円筒型

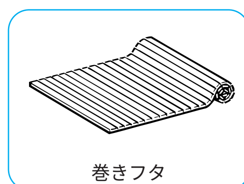
ド　　ア

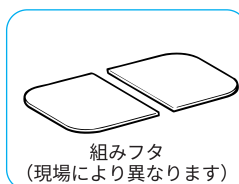

折り戸

排　水　栓

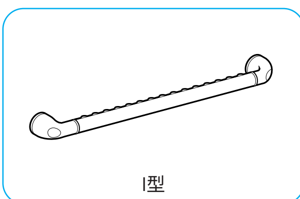

ゴム栓

風呂フタ


巻きフタ


組みフタ
（現場により異なります）

握りバー


I型

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※水洗金具、換気扇、アクアジェット等は商品に添付されている各取扱説明書および本体表示に従ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告** ……………「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ **注意** ……………「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

…………………「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

…………………「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

…………………「分解してはいけません！」

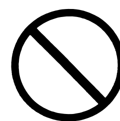
…………………「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

風呂フタについての警告

風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。
※フタが外れたりして、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。





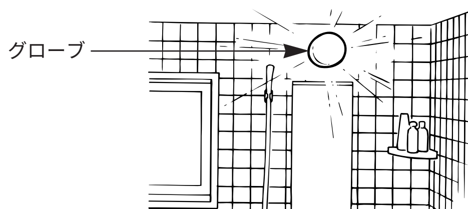
水栓金具や換気扇等の取扱いについての警告

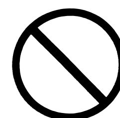
水栓金具や換気扇等の付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、および本体の注意表示に従ってお使いください。
※誤った使い方をすると、**思わぬ事故や故障の恐れ**があります。



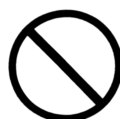
照明や換気扇についての警告

照明器具や換気扇等の電気製品は、グローブやルーバー等のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。
※**火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをする恐れ**があります。





照明器具にタオル等をかけないでください。
※**過熱して火災になる恐れ**があります。



換気扇等のお手入れや、電球を交換する場合は必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。
※**感電やケガをする恐れ**があります。



排水栓についての警告

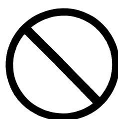
浴槽排水栓は、きちんと閉まっていることを確認してください。
お手入れ等でヘアキャッチャーを取り外した時はパチンと音がするまではめ込んでください。（P.10参照）
※追いだき機器をご使用の場合、漏水により空だきとなり、**火災の恐れ**があります。



⚠注意

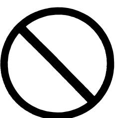
ケガに注意!!

換気扇運転中はルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※**感電やケガ・故障の恐れ**があります。

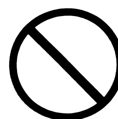




点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物などを置かないでください。
※**火災・感電や漏水**、またフタが外れ、落下して**ケガをする恐れ**があります。



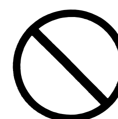
浴槽に飛び降りたりして、無理な力をくわえないでください。
※浴槽が破損して**ケガをしたり、漏水する恐れ**があります。



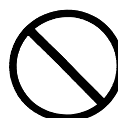
浴室内は石けん液などですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。
※転んで**ケガをする恐れ**があります。



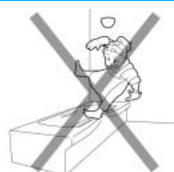
鏡に熱湯や冷水をかけないでください。
※急激な温度変化は鏡破損の原因となり、**ケガをする恐れ**があります。

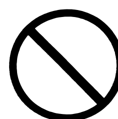


ものをぶつけるなど、鏡や壁への衝撃はお避けください。
※表面が傷ついたり、割れて**ケガをする恐れ**があります。



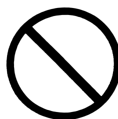
浴槽やカウンター、洗面器台の上に乗って、掃除や電球交換をしないでください。
※不安定な作業になりますので、転倒して**ケガをする恐れ**があります。





自分で取り付けないで!!

ご自分で壁に穴をあけて、握りバーやタオル掛等を取り付けないでください。
※**壁材が割れたり、漏水の原因**となります。



ヤケドに注意!!

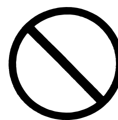
風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお使いください。
※フタが外れて、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。



溶剤、薬品に注意

排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流し込まないでください。
※**漏水の原因**となります。





使用時のご注意

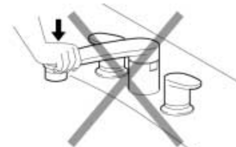
故障をおこさないためにお守りください

無理な力を加えないで!!

重いものや硬いものを落さないでください。
※**キズの原因**となります。



水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※**漏水の原因**となります。



窓枠の上に植木ばち等の重いものを置いたり、窓枠に突っ張りブラインド等で押し広げる力を加えないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

タオル掛やシャワーフック、スライドバー、ランドリーパイプ等に無理な力を加えないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

おそうじのときは!!

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸、アンモニア、苛性ソーダ等の薬品や漂白剤は使用しないでください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでおやめください。



ドアは飛散する水を防ぐためのものです。ドアに直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。

お手入れ等で、排水トラップや浴槽排水口のヘアキャッチャーを取り外した後は、きちんとはめ込んでから、使用してください。
※**排水管のツマリや悪臭の原因**になります。

金属類を放置しないで !!

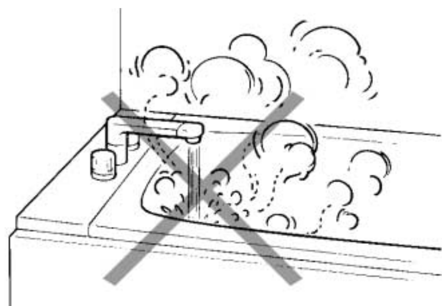
ヘアピン・カミソリの刃等をカウンターに放置しないでください。
※**サビが付着して取れなくなる場合**があります。

火を近づけないで!!

タバコ等の火気を近づけないでください。
※**キズ・ヒビ割れの原因**となります。

熱湯に気をつけて!!

お湯は温度を調節して給湯してください。
※直接熱湯（80℃以上）を入れたり、お湯を沸かしすぎますと**浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因**となります。



浴槽浄化保温機について

浴槽では浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※継続して使用すると**浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

化粧品の使用について

浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液をご使用される時は、必ずシート等で床を保護してください。
※床に付着すると**シミになる場合**があります。

目地のキズに気をつけて!!

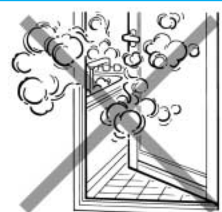
床・壁・天井・窓枠等の継目部分には、漏水を防ぐため目地材（または、コーキング材）がうたれています。はぎ取ったり、キズつけないでください。
※**漏水の原因**となります。

換気等に注意!!

換気扇の吸込口をタオル等でフタをしないでください。
※**故障の原因**となります。

入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用する等、浴室にこもった蒸気を屋外へ排出してください。
※浴室にこもった蒸気は、**悪臭やカビの発生原因**となります。
※換気扇を使用する時は、窓やドアを開けないでください。十分な換気ができません。

入浴中や貯湯、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
※浴室外に蒸気や水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。
※ドアがきちんと閉まった状態でも、シャワー等で勢いよくドアのすき間に散水すると外へ漏れることがあります。また蒸気や光につきましても完全に遮蔽する構造ではありません。



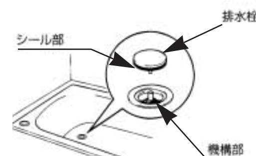
洗い場の床について

床表面は滑りにくいよう微細な凹凸のある岩肌調にしております。そのため一部に水滴が残り、乾燥に時間がかかる（場合によっては1日以上）ことがあります。
※床に残った大きな水滴は、入浴後使い終わったタオル等でふいておくと乾燥に時間がかかりません。

凍結に注意!!

※冬期凍結の恐れがある場合は、浴槽内の湯は排水してください。
追いだき付給湯機を使用の場合は、給湯機の取扱説明書に記載の凍結防止方法を参考にしてください。
※**破損や故障の原因**となります。

冬期に排水栓のシール部や機構部の水が凍結した状態で排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください
※**破損の原因**となります。



凍結のためにボタンを押しても排水栓が開閉しない場合は、排水栓に40°C以下の温水をかけ、解凍した上でご使用ください。



※冬期凍結の恐れがある時期に、長期間使用しない（浴室内温度が零度以下へ低下）場合は、床排水トラップ内の水が凍結しないように、トラップ内の水を吸い出して不凍液と入れ替えてください。不凍液が入手できない場合は、ヘアキャッチャーや防臭パイプを外してから不凍液の替わりにぼろ布をトラップ内に押し込んで、排水からの臭気が入らないようにしてください。

KILAMIC抗菌仕様商品についてのご注意

・KILAMIC抗菌仕様商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによるヨゴレの生成を抑制します。ホコリ、油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。
・KILAMIC抗菌仕様商品は菌の繁殖を抑制する効果は持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品を感染防止を目的として使用しないでください。

ご使用方法

ドアについて

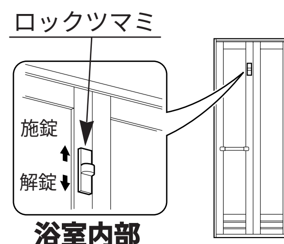
以下の説明をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
浴室ユニットをご使用の前に、ドアを開けたままで解錠が可能か確認してください。万一、解錠ができない場合は、購入先へ連絡してください。


ワンポイント 小さなお子さまが浴室内に一人で入らないように、入浴時以外は浴室外側からの施錠をお勧めします。

折り戸の施錠・解錠

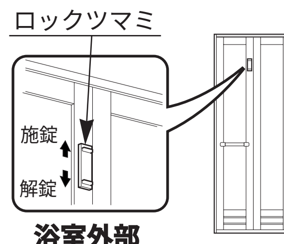
浴室内側からの施錠・解錠

施錠はドア上側にあるロックツマミを上げます。
解錠はロックツマミを降ろします。



浴室外側からの施錠・解錠（非常時）

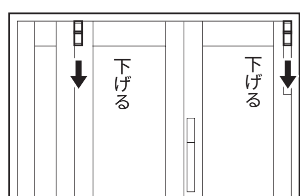
施錠はドア上側にあるロックツマミを上げます。
非常時に浴室外から解錠するときは、
ロックツマミを降ろします。
施錠スイッチが解錠となり、ドアを開けることができます。



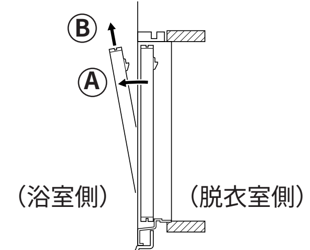
折り戸の取外方

浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

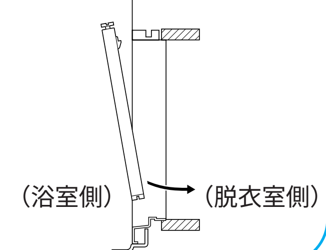
1 扉の左右上部の2か所のロックツマミを下げます。



2 扉上部を浴室側に傾けます。-Ⓐ
扉を上方へ持ち上げます。—Ⓑ

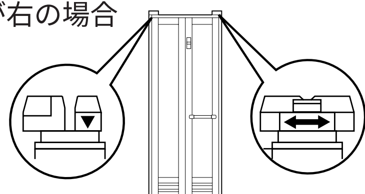


3 扉を折り曲げながら、
脱衣室側に取り出します。

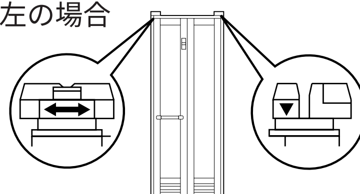


※取付けは「取外方」と逆の手順で行います。取付けの際は、戸車の向きに注意してください。向きを間違えると開閉時、枠から障子が外れます。

取っ手が右の場合



取っ手が左の場合

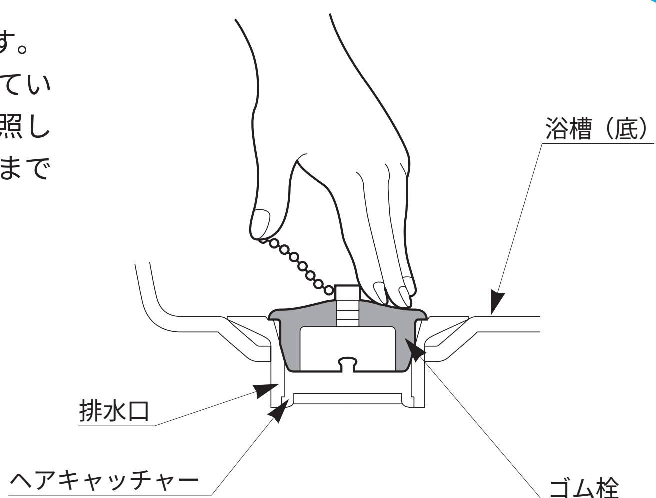


※取付後は、ロックツマミが元の位置（上側）に戻っていることを確認してください。

排水栓について

ゴム栓の場合

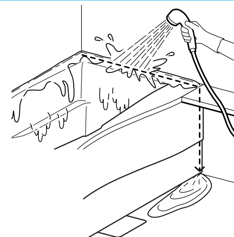
排水栓は手でしっかりと排水口に押し込みます。
※ゴム栓の閉まりが悪く、お湯が漏れて減っていく場合は、P.13の排水口のお手入れを参照して、ヘアキャッチャーをパチンと音がするまではめ直してください。



お手入れ方法

入浴後のお手入れ

浴槽と壁のすき間にシャワーで熱めのお湯をかけます。
※すき間に入ったお湯は浴槽下から排水されますので心配ありません。
※すき間が汚れている場合は毛先の長いやわらかいブラシ等で掃除してください。
※シャンプー等の泡が壁パネル等に残るとカビが発生しやすくなるので、シャワーで洗い流してください。



日頃のお手入れ

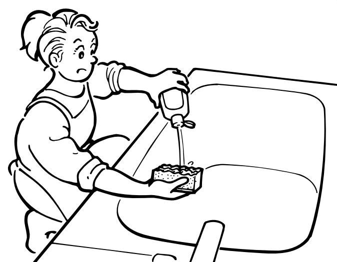
共通

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは、アンモニア、苛性ソーダ、塩酸等の薬品や漂白剤は使用しないでください。漂白剤やカビ取り剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書を読んで、正しくお使いください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでおやめください。



浴槽や風呂フタ・床のお手入れ

入浴後の湯を放置すると、浴槽の内面に緑青や白いヨゴレ（金属石けん）が付いて落ちにくくなります。市販のクリームクレンザーを使用して磨けば落ちますがクレンザーの多用は浴槽表面を傷つけ、光沢を失います。浴槽や風呂フタを長くきれいに使うため入浴後はできるだけすみやかに排水、掃除をしてください。
掃除：うすめた浴室用合成洗剤をスポンジか柔らかい布に付けて洗い、その後水でよく洗い流してください。風呂フタはよく乾燥させてください。



**ワンポイント** 入浴後はすみやかに排水、掃除をされることをお勧めします。また浴槽の底にたまったゴミや鉄粉はよく洗い流してください。放置すると取れなくなる場合があります。

ドアのお手入れ

浴室用合成洗剤を柔らかい布に付けて、ふき洗いしてください。
ドアやドアの下、ドアの廻りのパッキン等、ヨゴレがひどい場合は、歯ブラシ等にうすめた浴室用合成洗剤を付けて洗ってください。
洗剤で洗った後は、洗剤が残らないように、湿らせた布でよくふきとってください。
ドアを洗う場合に、ドアに直接水をかけないようにしてください、ドア外へ水が飛散する場合があります。

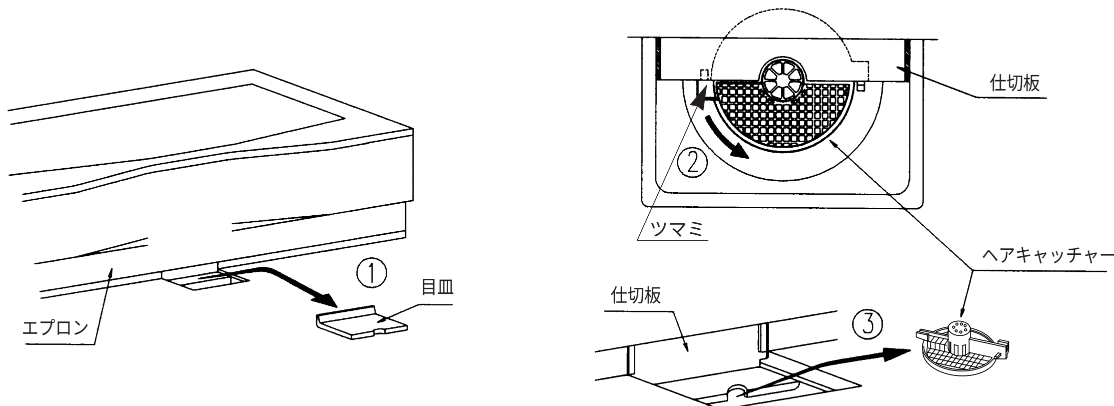


鏡・収納部・点検口・窓枠のお手入れ

浴室用合成洗剤をうすめてスポンジ等柔らかいものに含ませてふいてください。
ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。キズがつきます。

ヘアキャッチャーのお手入れ

1．ヘアキャッチャーの取外方

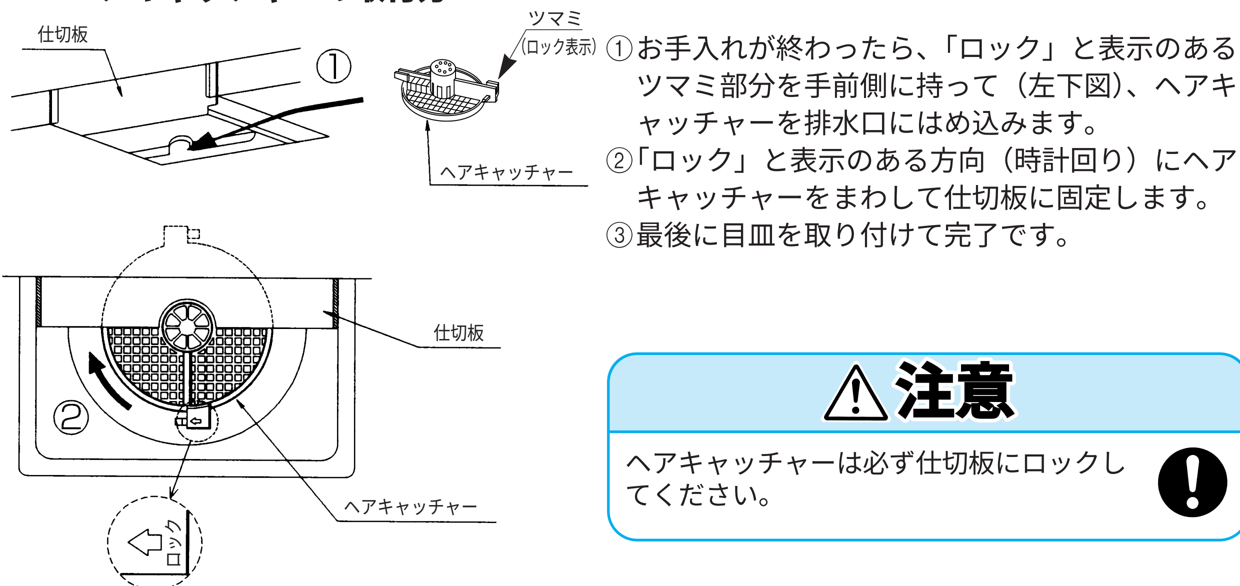


①目皿を取り外します。
②ヘアキャッチャーのツマミ部を持って反時計回りに回転させます。
③ヘアキャッチャーを取り外します。

2．ヘアキャッチャーのお手入れ

ヘアキャッチャーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。

3．ヘアキャッチャーの取付方



①お手入れが終わったら、「ロック」と表示のあるツマミ部分を手前側に持って（左下図）、ヘアキャッチャーを排水口にはめ込みます。
②「ロック」と表示のある方向（時計回り）にヘアキャッチャーをまわして仕切板に固定します。
③最後に目皿を取り付けて完了です。

⚠注意

ヘアキャッチャーは必ず仕切板にロックしてください。



週1回程度のお手入れ

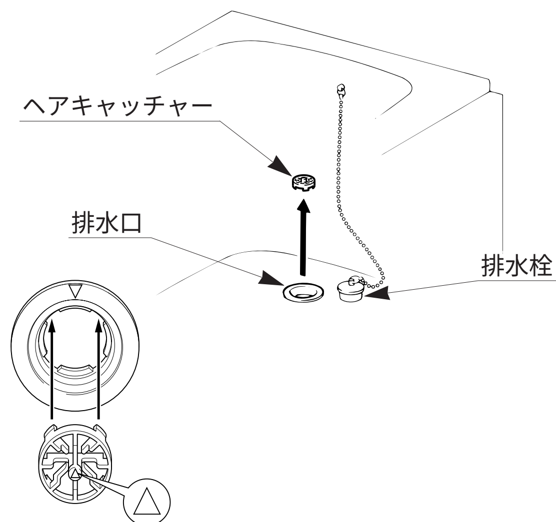
浴槽排水口のお手入れ

浴槽排水口のお手入れ（ゴム栓の場合）

浴槽排水口内のゴミを取り除いてください。

※排水口内のゴミ等は週に1度は取り除いてください。
取り除いたゴミ等は直接流さないでください。
排水管の詰まりの原因となります。

※ヘアキャッチャーを排水口に取り付ける時は、ヘアキャッチャーの△マークを排水口の▽マークに合わせてパチンと音がするまできちんと押し込んでください。きちんと取り付けないと浴槽の湯張りが十分にできなくなります。



※参考排水時間（満水-60ﾘｯﾄﾙ）1300サイズ　5分30秒

握りバーのお手入れ

ヨゴレは、乾いた柔かい布でふきとってください。ヨゴレがひどいときは、うすめた浴室用合成洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあと必ず水ぶきしてください。

念入りなお手入れ

壁パネル・天井・照明カバーのお手入れ

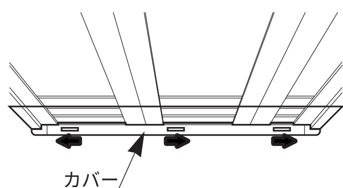
浴室用合成洗剤をうすめてスポンジ等柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。キズがつきます。


ワンポイント 入浴後に壁パネル等に付着した泡等をシャワーで洗い流して、よく乾燥させるとカビが発生しにくくなります。

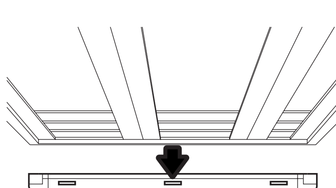
ドア下枠（敷居部）のお手入れ

折り戸の場合

1 ドアを閉じた状態で、カバー両端のロック部（親子式の場合は中央にもあります）を矢印方向にずらします。



2 カバー両端に指を掛けて上に持ち上げ、溝のゴミを取り除いてください。



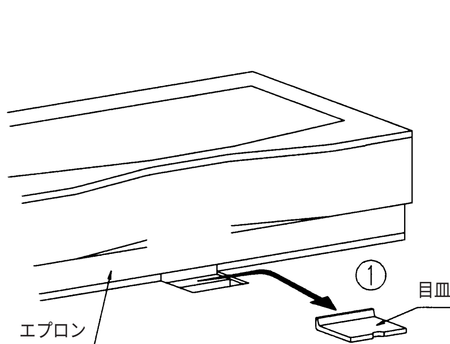
3 お手入後は、取外しと逆の手順で取り付けます。

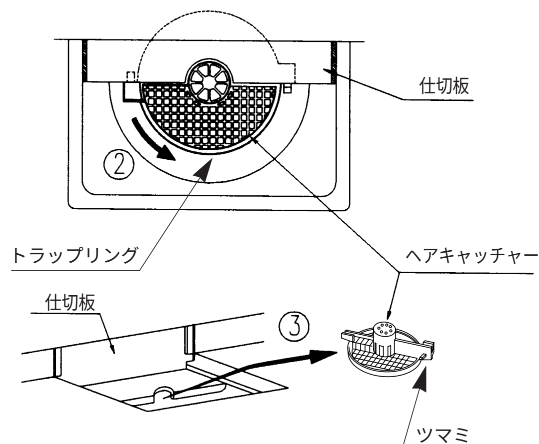
⚠注意


カバーは確実に取り付けてください。浮き上がっていると、ケガをしたり、脱衣室側に漏水する場合があります。

浴槽下と床排水トラップのお手入れ

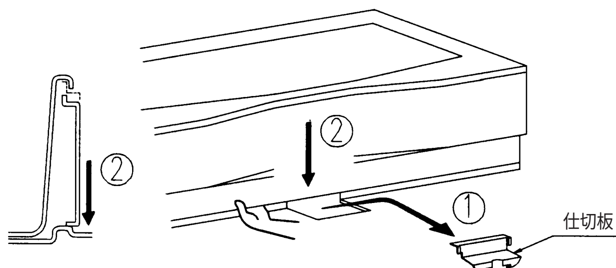
1．ヘアキャッチャーの取外方



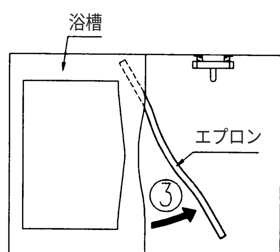


①目皿を取り外します。
②ヘアキャッチャーのツマミ部を持って反時計回りに回転させます。
③ヘアキャッチャーを取り外します。

2．エプロンの取外方



①ヘアキャッチャーを外した後、エプロンを手で押えながら仕切板を手前に引いて外します。
②エプロンを下ろします。
③エプロンを左下図のように手前に引き出し、回転させるようにして取り外します。



3．浴槽下のお手入れ

①外したヘアキャッチャーを元の床排水トラップリングに納めます。
②浴槽下のゴミ等を流すようにシャワーで散水した後、市販の柄付ブラシ等で浴槽下全体を清掃します。
③再度浴槽下にシャワーで散水し、ゴミやヨゴレを洗い流します。
④ヘアキャッチャーに付着したゴミを取り除きます。
⑤ヘアキャッチャーを床排水トラップリングから取り外します。

4．床排水トラップのお手入れ

①
床排水トラップ
防臭パイプ内壁

①浴槽下のお手入後、床排水トラップの防臭パイプ内壁を持ち、反時計回りに止まるまで回します。

凸部
②
防臭パイプ

②防臭パイプを上方に持ち上げ、その上の凸部に引っ掛からないようにして引き抜きます。

③取り出した防臭パイプのヌメリ等をふきとります。
＊内面がふきとりにくい場合は、内壁を上方に引き抜いてお手入れしてください。引き抜いた場合は、内壁を防臭パイプ内面の溝に沿って奥まで確実に入れてください。

開口
④

④次に床排水トラップ内部のヌメリやゴミを市販の柄付ブラシ等で取り除きます。
＊床排水トラップ内部の浴槽側には、開口のある壁を立てております。壁の奥側のヌメリやゴミも開口から柄付ブラシ等を入れて取り除いてください。

凸部
⑤
凹部
床排水トラップリング
防臭パイプ

⑤お手入れが終わったら、防臭パイプ上面の4方の凹部が床排水トラップリング内周面の4方凸部をかわしながら防臭パイプを落とし入れます。

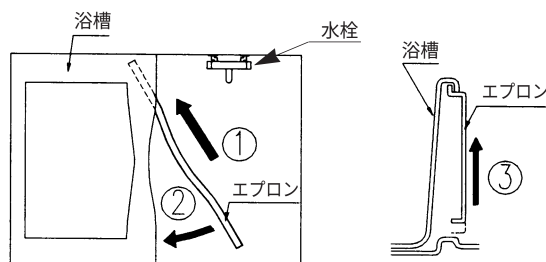
⑥
青色
赤色
床排水トラップリング
防臭パイプ内壁

⑥防臭パイプの内壁を持ち、防臭パイプ上面の▲印（赤色）と床排水トラップリング上面の▮印（青色）とを同じ位置にして防臭パイプをさらに下方に押し込みます。

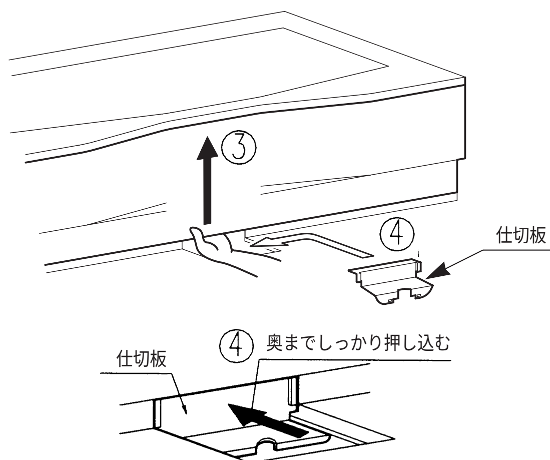
赤色
⑦
赤色
防臭パイプ
床排水トラップリング

⑦床排水トラップリング上面の▼印（赤色）と防臭パイプ上面の▲印（赤色）が同じ位置になるまで時計回り（「←CLOSE」方向）に回します。
＊防臭パイプは傾いた状態で取り付けないでください。

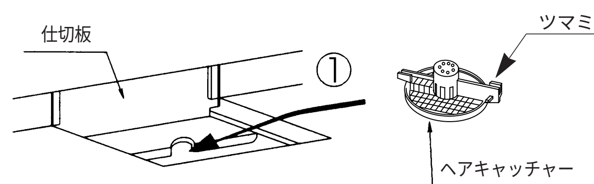
5．エプロンの取付方



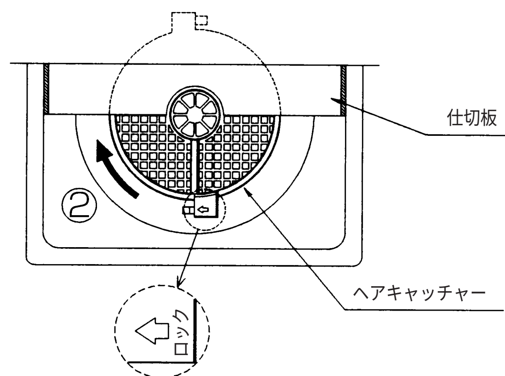
①お手入れが終わったら、エプロンを立てた状態で浴槽に対して斜めに差し込みます。
②左図のように水栓と反対側を回転させるようにしてエプロンと浴槽を正対させます。
③エプロンを持ち上げ、上端を浴槽のフランジ内に差し込みます。
④エプロンを持ち上げた状態で仕切板を排水溝にはめ込みます。
＊この際、奥までしっかり押し込んでください。



6．ヘアキャッチャーの取付方



①エプロンを取り付けた後、「ロック」と表示のあるツマミ部分を手前側に持って（左下図）、ヘアキャッチャーを排水口にはめ込みます。
②「ロック」と表示のある方向（時計回り）にヘアキャッチャーをまわして仕切板に固定します。
③最後に目皿を取り付けて完了です。



⚠注意

ヘアキャッチャーは必ず仕切板にロックしてください。



長くお使いいただくために

照明用電球の交換

電源スイッチを入れても照明がつかない場合は電球が切れていることが考えられます。
電源スイッチを切って、次の要領で交換してください。
交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。

 **警告**

感電に注意

照明スイッチ（配電盤スイッチ）は必ず切った上で作業してください。
※**感電やショートする恐れ**があります。



ぬれた手で交換作業をしないでください。
※**感電やケガをする恐れ**があります。



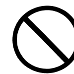
 **注意**

お取扱注意

電球および照明カバーの扱いには十分に注意してください。
※ぶつけたり衝撃を加えると**破損の原因**になります。
※ソケットの締込みは必ず行ってください。締込みが不十分だと**感電、ケガ、故障、動作不良の原因**になります。



浴室内リモコンのスイッチを大きな力で押したり、シールをはがしたりしないでください。
※**火災や感電、ショート、故障の原因**になります。



器具の分解、改造は絶対に行わないでください。
※**感電やショート、故障の原因**になります。

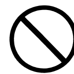


交換時の注意

電球はセットされているワット数で同形式のものをご使用ください。
※**故障の原因**となります。



電球が切れてもすぐに交換しないでください。
※電球が熱くなっており、**ヤケドをする恐れ**があります。



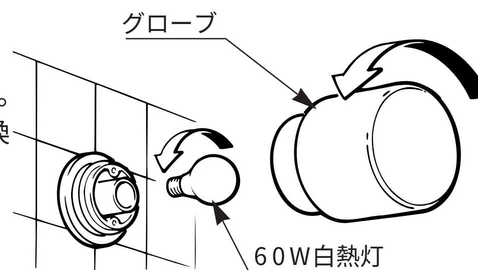
器具に直接水をかけないでください。
※**感電、ショート、故障の原因**になります。



白熱灯の交換

円筒形照明の交換

1. 照明スイッチを切ります。
2. グローブを左に回して取り外します。
3. 電球を取り外し、新しいもの(60W白熱灯)に交換します。
   ※ 切れて間もない場合は、熱いので冷ましてから交換してください。
4. グローブを右に回してしっかりと取り付けます。
5. 照明スイッチを入れて点灯することを確認します。
   ※ グローブが変形、または破損している場合はグローブを交換してください。



交換部品のご案内

INAXでは、お客さまご自身で交換可能な部品を用意しております。
なお、本項で紹介していない修理等はおやめください。

交換部品について

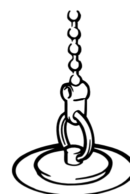
巻きフタ・組みフタ

ご使用のユニットバスルームサイズによって、適合風呂フタが異なります。下表をご参照の上、お求めください。

	巻きフタ	組みフタ
	交換部品品番	交換部品品番
BY-1317	BL-S72129-K	YFK-1375B(3)-K

ゴム栓

交換部品名称	交換部品品番
ゴム栓	RC-5G-L500



注意

お客さまご自身で交換される場合は、鎖の付け根にあるリングを外して取り替えてください。
浴槽に取り付けてある金具を外すと、お湯が漏れる恐れがあります。

交換部品の購入方法

上記の交換部品の名称と品番をご指定ください。

販売店等で購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
INAX商品の販売店、またはお近くのINAXショールームでお求めください。	(株) INAXメンテナンス宅配サービスにて承ります。 (宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。) **0120-00-1794** 受付時間9：00～17：00 (土、日、祝日を除く)

※ご必要になりました部品品番や、その他ご不明点については裏表紙のお客さま相談センターにお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

天井換気扇については各取扱説明書をご覧ください。
※自動湯張り・追いだき機能等の異常については給湯器の取扱説明書または給湯器本体にてメーカーをご確認のうえ、給湯器メーカーへご連絡ください。

部位	現象	原因
白熱灯	白熱灯が点灯しない。	電球がソケットにしっかりとはまっていない。
		電球の寿命が切れている。
排水口	流したお湯がなかなか排水されない。	排水トラップが目詰まりしている。

確認方法・対応方法	参照頁
電球をソケットに確実にはめます。	19
電球を交換します。	19
排水トラップの掃除をします。	15

左記の対応をしても直らないときは修理を依頼してください。

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（21ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または(株) INAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。



2.保証と保証期間について

当システムバスルームは、建築会社様への引渡日より起算して、防水性能は5年間、防水性能以外については2年間を無償修理保証期間と致します。ただし、無償修理保証期間内でも、以下の事項は有料による修理とさせていただきます。

1 取扱説明書に準拠しない取扱い、日常の維持管理を行わなかったことによるもの。
［浴槽用浄化保温機（24時間バス）を使用された場合等］
2 施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等によるもの。
3 不具合の原因が製品以外にある場合、およびユニットバスルーム工事範囲外に起因するもの。
4 色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の変化。
5 ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因するもの。
6 火災、落雷、地震等の天変地異、公害、ガス害、塩害等に起因するもの。
7 消耗品（パッキン、照明電球等）類。
8 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結によるもの。
9 指定規格以外の電気を使用したことに起因するもの。
10 ユニットバスルーム工事範囲外の給水・給湯配管からのサビ等異物流入に起因するもの。
11 温泉水・井戸水等水道関連法令に定める飲料用水質基準に適合しない水を給水したことに起因するもの。
12 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因するもの。

3.修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

1.おなまえ・おところ・電話番号
2.商品名・品番←P.26の「品番を調べる」参照
3.取付年月日
4.故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）←P.21の「故障かな？と思ったら」参照
5.訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの販売店、または（株）INAXメンテナンスに連絡してください。

●お求めの販売店

●**（株）INAXメンテナンス**　365日受付＆修理

TEL フリーダイヤル 0120-1794-11
受付時間9：00～22：00
FAX フリーダイヤル 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

4.部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.定期点検のオススメ(有料)

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをお勧めします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより2年たったもの

●温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

定期点検については、(株)INAXメンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料(技術料)+出張料+部品代(交換した場合)です。

6.浴室リフレッシュプラン(有料)のご案内

(株)INAXメンテナンスでは、

●浴室内の天井、壁、床、エプロン裏、水栓金具を用途にあった洗剤や研磨剤を使用して磨きあげる「バスルームオールリフレッシュ」

●日頃お手入れの行き届きにくい浴槽裏側の床面清掃を代行する「バスタブ下部洗浄」

等のサービス(有料)をご用意しております。

ぜひ、お気軽にお申込みください。

お申込みに関するお問い合わせは、次のフリーダイヤルをご利用ください。

(株)INAXメンテナンス　365日受付&修理

TEL 0120-1794-11
受付時間9:00～22:00

FAX 0120-1794-56

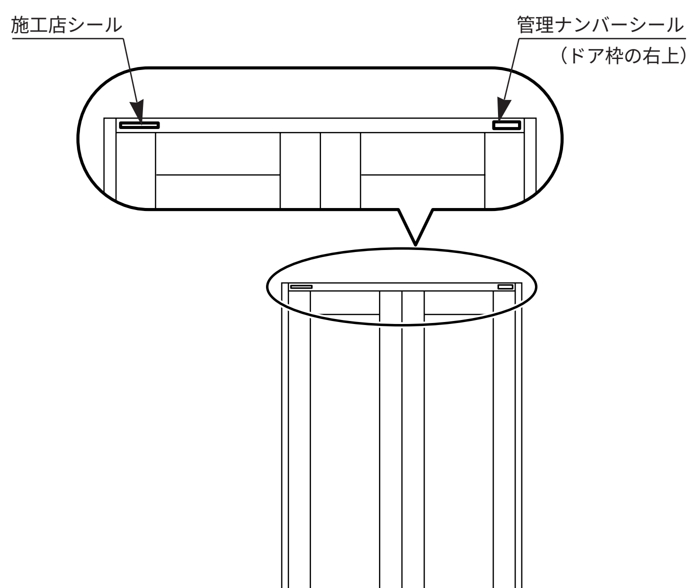
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

アフターサービスについて

品番を調べる

ドアに張ってあるシールを見る

浴室内ドア左側上部に張ってある管理ナンバーシールで品番をご確認ください。



株式会社 INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00

受付時間　平日　　　　9：00〜19：00
　　　　　土日・祝日　10：00〜18：00
　　　　　（夏季、年末年始の休みは除く）

FAX 0120-1794-30

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
（株）INAXメンテナンス　365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11

受付時間9：00〜22：00

FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

INAXインターネット・ホームページ・アドレス http://www.inax.co.jp/

取扱店
